

大麦栽培管理情報(刈取)

令和 5 年 5 月
アルプス農協管内農業技術者協議会

R5 年産の大麦の出穂期は、圃場間差はありますが、4/8 日頃で平年より 9 日程度早くなっており、成熟期も平年に比べ早くなると見込まれます。

今後は、カラスノエンドウ等雑草の抜き取りやコンバイン清掃の徹底など、刈取りに向けた準備を進めるとともに、成熟状況を把握し、適期刈取りに努めましょう。

1 刈取前の準備

○カラスノエンドウ種子等異物の混入防止

- 大麦は、実需者から異物混入防止の徹底を強く求められています。圃場内の雑草の抜き取りを徹底しましょう。特に、カラスノエンドウの種子は混入すると除去できないので、収穫作業前に確実に抜き取りましょう。
- また、近年、ハマダイコン（アブラナ科）の生育が確認されており、その莢の大麦への混入事例が発生しています。ハマダイコンの莢は、収穫後に大麦と選別することが難しいので、圃場やその周辺で見かけたら、速やかに抜き取って下さい。



大麦に絡みつくカラスノエンドウと種子（3 mm程度）



大麦圃場畦畔に生えたハマダイコンと種子（3 mm程度）



ハマダイコンの莢
（農研機構より提供）

○「赤かび粒」等の被害粒の混入防止

- 農産物検査規格における「赤かび粒」の混入限度は 0.0%です。
- 刈取りの直前に必ず、赤かび病の発生の有無を確認し、発生がみられる圃場は、刈取り・乾燥を別扱いにして下さい。



赤かび病

○コンバインの事前点検と使用前後の清掃の徹底

- 刈取直前に慌てないよう、コンバインの事前点検は早めに行いましょう。
- コンバインの扱胴回転数は、水稻の場合より 10～20%程度高くしましょう（麦仕様）。
- 異種穀粒の混入を防止するため、コンバインの使用前後には清掃を徹底して下さい。

2 適期刈取り

成熟期は、地域や圃場によって差があります。右表を参考に成熟期を予測して、適期を迎えた圃場から計画的に刈取りましょう。

- ・ 成熟期の目安は、茎葉と子実がほとんど黄化し、屈曲した穂の割合が50%程度です（下図参照）。
- ・ 早刈りは粒の充実が不十分に、刈遅れは熟度不良や収穫ロスが発生するので注意しましょう。
- ・ 刈取後、4時間以上放置すると「ヤケ麦」が発生し、品質が低下するので、早急に乾燥機または施設へ搬入しましょう。

表 積算気温による成熟期目安
(観測地点:富山地方気象台)

出穂期	成熟期の目安
4/2	5/21
4/5	5/23
4/8	5/25
4/11	5/28
4/14	5/30

※JA アルプス管内の出穂期平均：4/8
 ※積算気温は、5/9 までは平均気温を、その後は平年値を使用。
 ※今後の天候により成熟期が早回ることがある。

【大麦子実の水分変化と黄化状況（ファイバースノウ）】

成熟期前日数	立毛状況	子実水分	茎葉や子実の状況
-10		 水分48%	・ 茎が下部から黄化（黄化程度：30%）。 ・ 芒のほとんどは黄化しているが、子実は緑色。
-3		 水分38%	・ 茎の緑色がわずかに残る。 ・ 子実は緑色の粒がわずかに残る程度で張りがある。
±0 成熟期		 水分30%	・ 茎葉と子実のほとんどが黄化。 ・ 子実が固く引き締まる。 ・ 穂軸が曲がった穂の割合が50%程度。 

令和5年産大麦乾燥調製稼働施設：上市乾燥調製施設（TEL：472-3404）

※稼働時期等は、各営農経済センターへご相談下さい。

コンバイン等に着いた泥で道路が汚れたら、清掃しましょう！